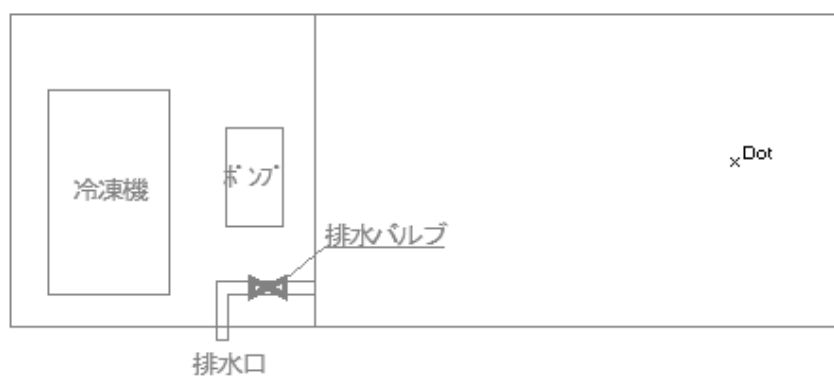
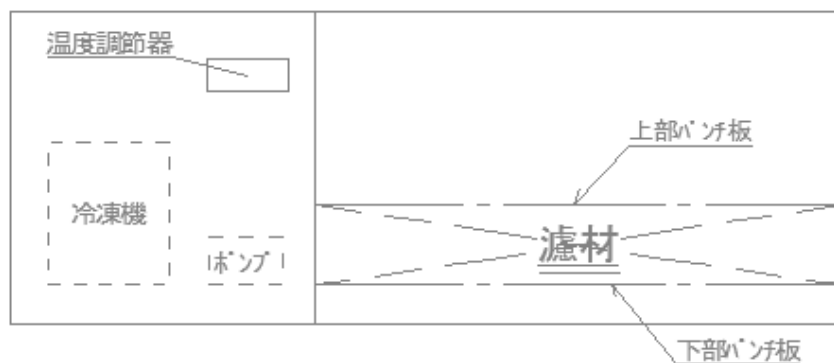


粹鮮(カウンター水槽) 取扱説明書

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。ご使用に際し、この説明書をよくご覧の上正しくご使用下さい。

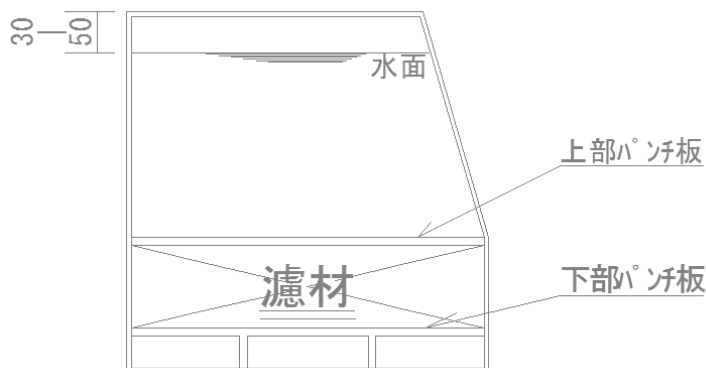
株式会社 自然海

各部の名称



1 . 組立て及び運転方法

- 1 . 枠梱包より水槽を取り出し、所定の場所へ設置して下さい。
- 2 . 濾材(木枠梱包と別口分です)を取り出し、米を洗う要領にて水道水でよく洗って下さい。
(洗いやすい様に、少量に分けて洗うと要領よく洗えます。)
- 3 . 水槽上部パツ板を取外し、洗浄した濾材を水槽下部パツ板の上に敷きます。
(上部パツ板を取付ツツまでの高さまで入れ、平らにします。)



- 4 . 排水口に排水ホース(ご準備して下さい)を取付け、排水バルブを開きます。
- 5 . 水道水にホース(ご準備下さい)を取付け、濾材の上から水道水をかけ、よくすすいで下さい。
(排水ホースより排水される水がきれいになれば完了です。約 15 分)

- 6 . 上部パネル板を取付けて下さい。
- 7 . 排水バルブを閉め、水槽へ水道水を基準水位まで入れて下さい。
(水槽上部より約 30mm ~ 50mm 下がるまで)。
- 8 . コントを電源に入れて試運転して下さい。(約 1 時間)
- 9 . コントを取外し(運転停止する)、排水バルブを開き水道水を排水して下さい。
- 10 . 排水終了後、排水バルブを閉じ、排水ホースを取り外して下さい。
- 11 . 海水(約 1リットル)を水槽へ基準水位まで入れて下さい。
人工海水を使用する場合
再度、水槽へ水道水を基準水位まで入れコントを電源に入れて運転して下さい。その後人工海水を取り敢えず 箱水槽へ投入に完全にとかし比重(P4.3-3 参照)を確認しつつ残量を少しずつ投入し調整して下さい。
- 12 . コントを電源に入れて運転して下さい。

2. 水温の設定手順（温度調整器の設定）

1. 電源投入時は現在の水温が表示されます

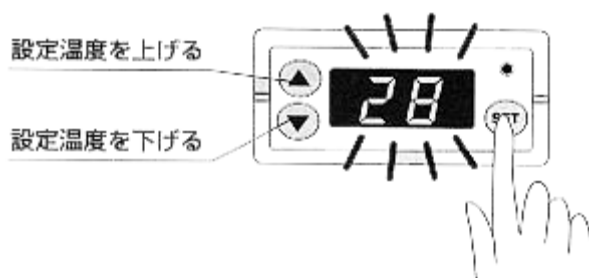


2. 冷却機が作動中は
運転ランプが点燈します



3. 温度を設定する

「set」ボタン（温度設定・変更ボタン）を1回押し、次に設定したい温度を（設定温度上昇ボタン）か（設定温度下降ボタン）で設定温度を表示させます。



<設定後、約 10 秒後に現在水温を表示します>

4. 運転開始

設定後、約 1 分後に冷凍機が作動します。

3. 日常の管理とお願い

1. 魚貝の収容量

標準備蓄量を超えないようにして下さい。特に運転開始後約1ヶ月は浄化能力が万全ではないので、できるだけ備蓄量は抑えて下さい。

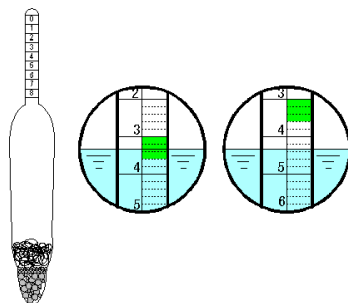
標準備蓄量は kg です。

2. 水温

時々通常の温度であることを確認して下さい。

3. 比重

比重計を海水に浮かべてみて水面が目盛りの 3.0～3.6(グリーンライン内)にあれば適正比重です。



グリーンラインが水面より高くなったら水道水を補充する。

グリーンラインが水面より低くなったら人工海水を補充する。

4. 水槽の掃除

アクリル面が汚れてきたら、早めに柔らかい布かスポンジでこすり取って下さい。その際あまり固い物でこするとキズが付きまますので注意して下さい。

5. 貝類の確認

比喩・貝類の生死の確認を毎日行なって下さい。

これらの死亡は穂かの貝類を全滅させることがあります。

水槽保守点検マニュアル

点検事項	状況	結果	対策	点検頻度
水温の確認	水温が異常に高いか異常に低い。	1)魚貝が死ぬ。 2)魚貝の病気が発生する。	適当な水温は 冬場は 15～16 夏場は 17～18	毎日
標準備蓄量 (魚貝収容量)	定められた標準備蓄量を超えている。	1)魚貝が死ぬ。 2)水が濁る。	魚貝量を減らす	速やかに
水槽の掃除	アクリル水槽の内部が薬で汚れる。	1)見た目に見苦しい。 2)鮮度訴求が逆効果になる。 3)不潔感を与える。	柔らかい布かスポンジでこすり取る (タワシ等固い物は傷がつくので絶対に使わない事)	週に1回
比重の確認	比重(塩分濃度)が異常に高いか異常に低い	1)魚貝が死ぬ。	ボーム計の目盛りが 3.0～3.6 (グリーンライン内)になる様に水道水か人工海水を補充する。	月に2回
濾材の洗浄	濾材の表面に濾過膜ができ目詰まりの状態	1)浄化能力の低下。 2)標準収容魚量が入らない。	濾材を取り出して洗浄する。	年に1回